

令和 5 年度
新たな資源管理システム構築促進事業のうち
国際資源の管理体制構築促進事業のうちまぐろ類流通調査分析事業の
成果報告書 概要

【受 託 者】

住 所 神奈川県横浜市西区みなとみらい 2-3-3
クイーンズタワー B 15 階

氏 名 まぐろ類流通調査分析事業共同研究機関
代表機関 国立研究開発法人水産研究・教育機構

(構 成 員)

氏 名 国立研究開発法人 水産研究・教育機構

氏 名 一般社団法人 責任あるまぐろ漁業推進機構

氏 名 学校法人 東海大学

氏 名 一般社団法人 日本海事検定協会

1. 事業の実施状況

(1) 調査項目及び調査対象

令和 5 年度新たな資源管理システム構築促進事業のうち国際資源管の理体制構築事業のうちまぐろ類流通調査分析事業について仕様書に基づき業務を実施した。

(2) 事業実施期間

令和 5 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 23 日

(3) 事業の成果（又はその概略）

ア. DNA 検査

外国漁船及び日本漁船のうち、選定した 60 隻の漁獲物から組織標本をサンプリングして DNA 分析を行い、魚種及び海域の特定を行った。

イ. まぐろ類の魚種及び生息海域判別の効率化と精度向上に係る技術開発

まぐろ類の魚種・産地判別手法の高度化は、きはだまぐろの産地判別の迅速化及びより詳細な産地判別マーカーの開発を軸として、主要まぐろ類を対象とする簡易で迅速な種判別手法の開発と合わせて進められてきた。これまでの結果等を踏まえ、めばちまぐろ及びきはだまぐろの海域判別を可能にする遺伝子マーカーの探索を行った。

ウ. 流通実態調査

豊洲市場大卸業者、まぐろ問屋及び商社等に対してみなみまぐろ及びメキシコ産くろまぐろについて、アンケートにて市場流通の実態調査及び聞き取り調査を実施し、これまでの収集データの分析を行った。

エ. 事業報告会及び報告書作成

令和 6 年 3 月 12 日に事業報告会を開催し、事業報告書（案）を作成するとともに各種報告を行った。